

大船渡市 消防団だより

第 21 号

平成 27 年 3 月 5 日発行

● 主な記事内容 ●

- 消防団長年頭あいさつ・団車両配備…P. 2
- みちのく ALERT2014・防災訓練特集
「いま」を伝えるプロジェクト2014…P. 3
- 大船渡市消防出初式特集………P. 4、5
- 綾里田浜下地内林野火消火活動…P. 6
- ニューフェイス……………P. 7
- 立根小学校防火作品……………P. 8

平成 27 年 大船渡市消防出初式



義勇愛郷! 心ひとつに 次の用心!

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

平成 26 年度 全国統一防火標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 TEL.0192-27-2119）
大船渡地区消防組合ホームページ <http://www.fd-ofunato.jp/>



消防団長年頭あいさつ

大船渡市消防団団長 新 沼 竹 美

輝かしい平成27年の新春を迎え、市民の皆様には謹んで年頭のごあいさつを申し上げますとともに、日頃より消防団活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年を顧みますと、消防行事では、岩手県消防操法競技会ポンプ車の部において、第5分団第2部が昭和49年度以来40年ぶりに優勝することができました。震災の影響で練習場所の確保が難しく、また、消防屯所も完成していない中で優勝という結果を出せたことは選手たちの努力もさることながら、関係各位の温かいご支援のたまものです。あらためまして御礼申し上げますとともに、これからの大船渡市消防団の消防操法技術のますますの向上のために変わらぬご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

火災につきましては、抑止目標を大きく下回る、7件の発生にとどめることができました。これは、日頃の予防活動の成果であり、地域の防災意識が年々高まっている結果だと考えます。しかしながら、昨年も火災により1名の犠牲者を出してしまいました。消防団員である我々の最優先事項は人命の安全確保です。そのためにも、婦人防火クラブをはじめ地域の皆様と協力しながら、さらなる予防・警戒態勢の強化を図り、本年こそ犠牲者ゼロを達成できるよう努めてまいります。

また昨年は、台風や局地的な集中豪雨などの自然災害が全国的に多発しました。大船渡市では幸いにも大きな自然災害は起こりませんでしたが、地域防災を担う我々消防団への市民からの期待と信頼はますます高まっています。

このような市民の期待へ応えるべく、我々消防団は、消防の原点であります「我が郷土大船渡は自分達で守る」という義勇と愛郷の精神のもと、これまで以上に訓練を重ね、市民の安全と安心の確保に努めてまいることを新春の消防出初式において誓いを新たにするところであります。

結びとりますが、大船渡市の1日も早い復旧、復興を願うとともに、大船渡市民のご健勝と本年が無災害でより良い年でありますことをご祈念いたしまして年頭のあいさつといたします。

大船渡市消防団 1年のあゆみ

2014年(平成26年)

- 4/1 消防団幹部辞令交付式
- 4/17 ラッパ隊辞令交付式
- 4/18 分団庶務担当者会議
- 4/20 部長・班長教養
- 5/18 春季消防演習
- 6/15 気仙地区支部初任団員教養
- 6/22 大船渡市消防操法競技会

- 7/6 気仙地区支部消防操法競技会
- 7/18 消防後援会連絡協議会総会
- 7/27 岩手県消防操法競技会
- 8/30 岩手県総合防災訓練
- 8/31 機関員教養
- 10/22 分団予防担当者会議
- 11/1 まとい組辞令交付式
- 11/9 みちのくALERT 2014

11/16 一般家庭査察

2015年(平成27年)

- 1/18 大船渡市消防出初式
- 1/24 第1回団本部夜警視察
- 2/21 第2回団本部夜警視察
- 3/1 一般家庭査察
- 3/17 岩手県消防表彰式(予定)

救助資機材搭載型消防団車両配備

総務省消防庁から大船渡市消防団に救助資機材搭載型消防ポンプ車が無償貸与され、平成26年12月3日(水)に交付式が行われました。これは、東日本大震災の教訓を踏まえ、今後想定されている南海トラフ巨大地震などの大規模地震と、近年全国各地で発生している台風などの大規模自然災害に備えるため、地域防災力の中核である消防団の充実強化を図ることを目的とし、消防庁が車両及び資機材の無償貸付を行ったものであり、今年度車両更新となっている三陸町吉浜字根白地区の第12分団第3部に配備されることとなりました。この車両は消防ポンプ車をベースとし、消火活動はもちろんのこと救助救出に必要な資機材も搭載しており、さまざまな現場活動に対応する事が可能で、大船渡市消防団車両初のオートマチック仕様の車両となっています。今後の現場活動での活躍が期待できます。



○配備された主な資機材○

- ・油圧切断機
- ・救命浮環
- ・可搬ウインチ
- ・救命胴衣
- ・AED
- ・応急処置セット
- ・エンジンカッター
- ・油圧ジャッキ
- ・特定省電力トランシーバー
- ・コンクリート破壊器具
- ・布担架
- ・HID強力ハンディーライト



交付式での集合写真

…みちのくALERT2014・防災訓練…

平成26年11月6日(木)から9日(日)の4日間、みちのくALERT2014が開催されました。この訓練では、宮城県沖を震源とする、マグニチュード9.0の地震が発生し、最大10mの津波が来襲したとの想定で、自衛隊主体のもと東北6県52市町村72機関が参加し、大規模な訓練を実施しました。大船渡市防災訓練では、9日午前6時30分に大地震発生の想定で、各消防分団が指揮本部を設置し、通信情報伝達訓練と消防団車両による避難誘導訓練を行いました。避難誘導訓練では、東日本大震災の教訓を生かして、消防団安全管理マニュアル『20分ルール』に従い活動し、消防デジタル無線を用いて通信情報の共有化を図り、統率のとれた訓練となりました。その後、沿岸各地の捜索活動想定現場へ自衛隊を誘導し合同捜索活動訓練、旧商工会議所においてがれきの中での救助・搬出訓練、自衛隊ヘリによる市内のホテル屋上からの救出訓練、大船渡病院ヘリポートへの着陸訓練など、どの訓練も実践的に行われました。多くの市民の皆様に参加していただき感謝いたします。各分団では今回の訓練を検証し、今後の災害活動に反映させていきます。



写真で綴る被災地の「いま」を伝えるプロジェクト2014

このプロジェクトは、震災から間もなく4年がたち、東北の『いま』を正しく見極め、震災の記憶と体験を伝えることで、東北そして日本全体の将来につなげることを目的としています。11月23日(日)大船渡市に、福島県・群馬県・富山県・奈良県・山口県・徳島県・沖縄県の中学生7名とお笑いコンビのロザンが取材に来訪しました。

新沼團長が消防団の役割と『20分ルール』とは?をテーマに講話をしました。講話を終え、消防団員の役割を学び、20分と短い活動時間かもしれないけれど、その20分の間に自分たちには何ができるのか?みなさん真剣に考えレポートにまとめ、各学校で発表し被災地の『いま』を伝えました。



活動の様子・レポートなどはスマイルとうほくプロジェクトのサイトでご覧になれます。
「スマイルとうほく」で検索。<http://smile-tohoku.jp/>

大船渡市消防出初式

平成27年1月18日(日)快晴の冬空のもと、盛町商店街とリアスホールを会場に、平成27年大船渡市消防出初式が開催されました。

盛町商店街では、まとい組の勇壮な掛け声を皮切りに分列行進が始まり、続いてラッパ隊の息の合った吹奏に合わせ消防団員、婦人防火クラブ員、車両部隊が沿道からの温かい声援の中、堂々と行進を行いました。

また、リアスホールで行われた式典では、無火災分団表彰、今年度岩手県消防操法競技会ポンプ車の部で優勝した第5分団第2部への特別功労表彰、ラッパ隊員・まとい組員の勤続表彰を行い、大船渡市議會議長畠中孝博様、岩手県議会議員田村誠様、大船渡警察署長内藤光樹様より祝辞をいただきました。さらに、11月から3ヶ月間にわたり夜遅くまで訓練を積み重ねてきたラッパ隊によるドリル吹奏、まとい組によるまとい振りが行われ、詰め掛けた観衆を魅了しました。

最後に角田副市長の音頭により出初式参加者全員で「火の用心」を三唱し、新年の防火・防災の先頭に立つ決意を新たにしました。



◆大船渡市長表彰◆ 消防団長表彰

無火災分団表彰

○2期間無火災分団

○1期間無火災分団

○第7分団(平成24年6月)

○第4分団(平成25年3月)

○第5分団(平成25年5月)

○第10分団(平成25年6月)

特別功労表彰

○第5分団第2部

◆消防団長表彰◆

○ラッパ隊功労証(10年以上在籍)

・斎藤 拓・小松 優介

○ラッパ隊功績証(5年以上在籍)

・佐藤 研祐・今野 義雄

○まとい組功労証(10年以上在籍)

・澤田 瑞樹・坂本 貴人

○まとい組功績証(5年以上在籍)

・熊谷 克哉・澤田 剛

○まとい組功績証(5年以上在籍)

・山岸 剛・鎌澤 哲史



息の合ったラッパ隊



車両部隊も統監に敬礼

平成27年大船渡市消防出初式



行進に華を添えたまとい組



婦人防火クラブの皆さん



統監による観閲



団長年頭訓示



整列する消防団員



特別功労表彰を受ける亘理部長



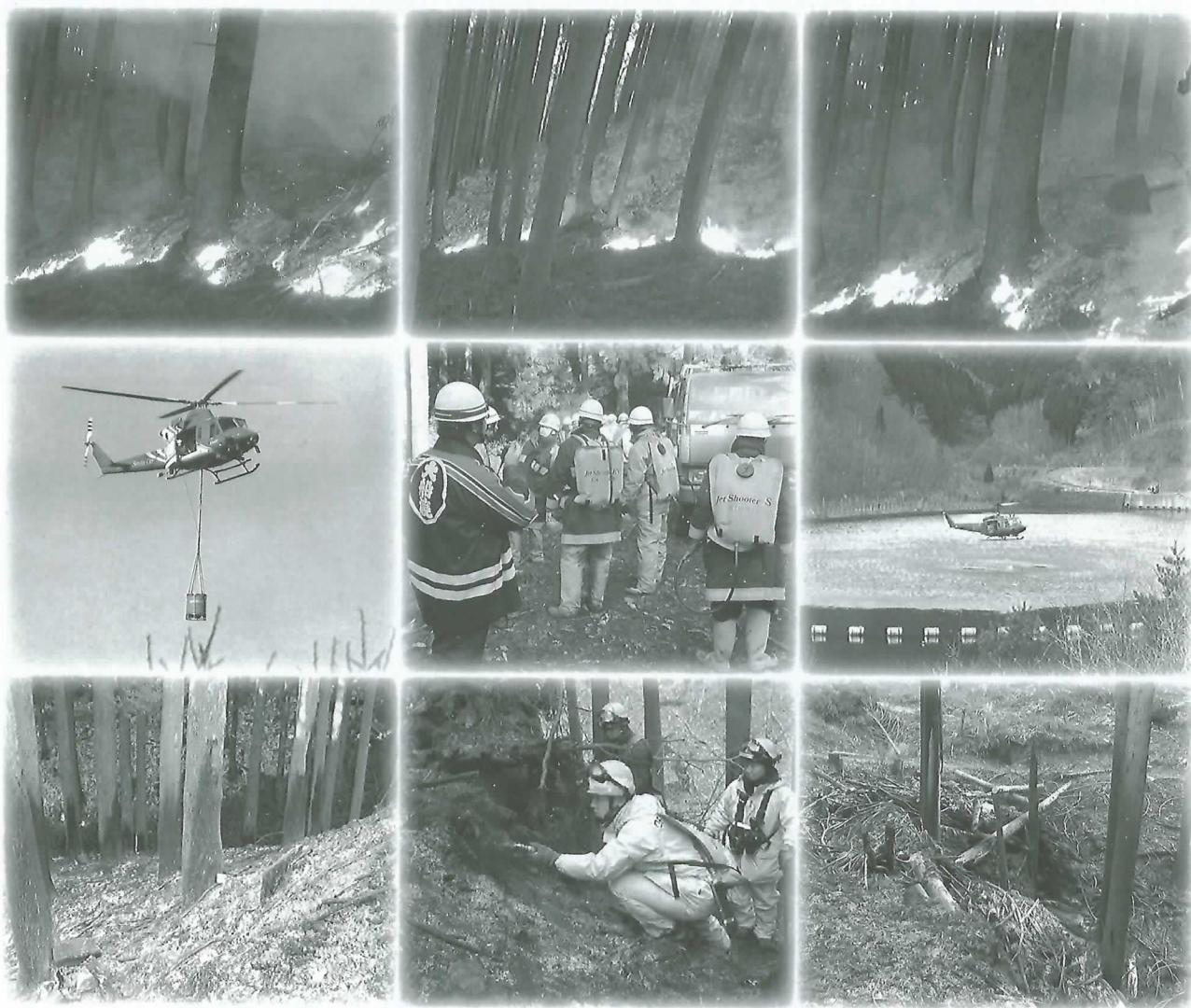
観衆を魅了したラッパドリル吹奏



勇壮で力強いまとい振り

三陸町綾里田浜下地内 林野火災消火活動

1月20日(火)正午過ぎに発生した三陸町綾里田浜下地内の林野火災は、鎮火まで五日間を要し、昭和51年1月に発生した三陸大火(三陸町越喜来小出地内・焼損面積250ヘクタール)に次ぐ災害規模となりました。山岳地帯の消火活動は困難を極めましたが、消防団、消防組合、岩手県防災航空隊、仙台市消防航空隊、自衛隊が連携を図り、消防車両による泡消火、ジェットシューターによる消火、ヘリコプターによる空中消火を実施しました。消防団は延べ約400人、全隊では延べ約600人が出動し、必死の活動を展開しました。焼損面積は9.31ヘクタール、火災原因は現在調査中です。各関係機関の応援と協力に感謝いたします。



○火災確認時間 1月20日(火) 12時37分

鎮圧時間 1月22日(木) 11時20分

鎮火時間 1月24日(土) 12時30分

○消防車両 70台

岩手県防災航空隊 ヘリコプター1機

仙台市消防航空隊 ヘリコプター1機

自衛隊 ヘリコプター4機・車両5台

(陸上自衛隊八戸第9飛行隊・航空自衛隊三沢空輸隊・陸上自衛隊岩手県駐屯地第9特科連隊)

ニューフェイスのご紹介



所属: 第1分団第3部
氏名: 白木沢 慶
年齢: 25歳
趣味: カラオケ

抱負: 熱い信念を持った先輩方から多くのを吸収し、自己成長に繋げたいです。

先輩から: これから消防団での活躍を期待します。



所属: 第2分団第1部
氏名: 村田 匠
年齢: 32歳
趣味: 英語
特技: 楽器演奏

抱負: 地域のためにできることを考え懸命に取り組んでいきます。

先輩から: 埼玉県からやってきた村田団員、日頃の消防活動や操法など活躍を期待します。



所属: 第3分団第1部
氏名: 田村 勇
年齢: 19歳
趣味: サッカー
音楽鑑賞

抱負: 地域の安全を守っていく意識を高め新人らしく頑張ります。

先輩から: 雰囲気が明るい部です。一緒に楽しく頑張りましょう。



所属: 第4分団第2部
氏名: 後藤 俊太
年齢: 22歳
趣味: サッカー

抱負: 地域のために精一杯頑張ります。

先輩から: 趣味がサッカーの後藤君。彼の若さと脚力に期待しています。



所属: 第5分団第1部
氏名: 葉澤 芳行
年齢: 23歳
趣味: 映画鑑賞

抱負: 地域に貢献できるよう頑張ります。

先輩から: 若い世代が盛り上げてくれるのを期待している。一緒に頑張ろう!



所属: 第6分団第2部
氏名: 高橋 康則
年齢: 28歳
趣味: 運動

抱負: 消防団の名誉と人気のより一層の向上を図れるよう、全身全霊を捧げたい。

先輩から: 秀才でかつ運動神経も非の打ち所がない好青年です。活躍を期待しています。



所属: 第7分団第2部
氏名: 藤田 聰史
年齢: 26歳
趣味: スノーボード
特技: 仕事中に寝る
抱負: 消防団活動には積極的に参加したい。

先輩から: 大船渡に来てさみしいだろうから団の仲間と一緒に大船渡ライフを送って下さい。



所属: 第8分団第2部
氏名: 片山 敬済
年齢: 26歳
趣味: 釣り
特技: 陸上

抱負: 先輩を見習って頑張ります。まといもやってみたいです。

先輩から: 社交的で明るく、消防活動に積極的。将来有望な片山君に今後も期待します。



所属: 第9分団第1部
氏名: 佐藤 大樹
年齢: 31歳
趣味: 映画鑑賞
特技: スノーボード

抱負: 地域のお役に立てるよう努力していきます。



所属: 第10分団第1部
氏名: 炭釜 優
年齢: 26歳
趣味: 麻雀、旅行

抱負: 敬愛する先輩の下で、一生懸命頑張ります。

先輩から: いつも冷静沈着な炭釜くん、期待します。



所属: 第11分団第5部
氏名: 日下 富洋
年齢: 29歳
趣味: 麻雀、サッカー

抱負: 一日も早く一人前の消防団員として認められるよう努力し、地域に貢献したいです。

先輩から: 気軽に話し合える家族のような関係を築き、一致団結し消防団活動に励みましょう。



所属: 第12分団第3部
氏名: 小坪 竜大
年齢: 20歳
趣味: 野球

抱負: 地元を火災・災害から守れるよう消防団活動を早く覚えます。

先輩から: 団員との交流を図り明るく元気に過ごし、地域の安全のため互いに頑張りましょう。

立根小学校防火作品

立根小学校の児童が防火標語と防火写生を作成しました。数多くの素晴らしい作品の中から一部を紹介します♪

何度もね
チエックしないと
家全焼
尋さん

六年 佐藤

心にオン
火にはオフで
大丈夫
六年 藤原 愛知さん

六年

火遊びは
ふざけてやるな
火事のもと
五年 高凌太朗さん

五年

危険は起ころ
火事のもと
五年 志田 聖來さん

五年

料理の後
コンロの火を
確かめる
四年 田中 徳真さん

四年

火遊びは
ダメよダメダメ
火事のもと
四年 伊藤 歩美さん

四年

ろうそくを
使った後は
確かめよう
三年 佐々木春菜さん

三年



2年 蕨野 孔思さん



2年 菅原 輔さん



2年 上部 歩穂さん



1年 佐々木彩花さん



1年 小西 真央さん



1年 富手 理人さん

…消防団員大募集!! …

消防団は、個々の職業を持つかたわら『自分たちのまちは自分たちが守る』という義勇愛郷の精神に基づき、地域の皆さんとふれあいながら安心・安全なまちづくりの実現に努力しています。

◎ 消防団員の待遇

消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。活動中に負傷した場合などには、公務災害などの補償が受けられます。また、年報酬や出動手当、一定期間以上勤めると退職報償金などが支給されます。

消防団に興味を持たれた方や、消防団への入団を希望する方は地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にその旨をお伝えください。

まちを愛する一人ひとりの力を結集すれば地域の安全は、必ず確かなものになります。

編集部より

東日本大震災から間もなく4年がたちます。次々と新たな建物が建設され、復旧・復興の足音が大きくなっています。大きな変化を遂げている大船渡ですが、地域防災の最前線という消防団の役割は変わることはありません。義勇愛郷の精神のもと、市民の皆様の安全・安心の確保にこれまで以上に努めて参ります。

さて、今回で第21号となりました消防団たよりですが、「平成27年消防出初式」に焦点を当て制作しました。消防団員の活躍はどうでしたか。消防団員の元気が皆様の力となれたら幸いです。

最後になりますが、これから火災が起こりやすい季節となりますので、火の元の確認を十分にしていただきたいと思います。これからも消防団一丸となり頑張りますので、皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

編集部（団本部）

平成26年火災件数

(平成 26 年 1月 1日～12月 31日)

建物火災	4件
林野火災	0件
車両火災	0件
船舶火災	0件
その他火災	3件
合計	7件